



◆「ふわふわ言葉」があふれる学校へ◆

新緑が美しく、朝夕の風に心地よさを感じる季節となりました。新しい学年が始まって二か月が過ぎ、子どもたちは少しずつ学校生活にも慣れ、落ち着いて学校生活を送る姿が多く見られるようになってきました。

さて、本校では今年度も「にこにこプロジェクト」の取組として、子どもたちが安心して挑戦できる学校づくりを進めています。6月の重点目標は、「優しい言葉を使おう（ふわふわ言葉）」です。優しい言葉は、人の心を温かくし、学校の空気まで変えていきます。

5月には、1年生おめでとう集会や運動会の練習など、たくさんの教育活動がありました。その中で、子どもたちから多くの温かい言葉を聞くことができ、とても心が温まる瞬間がたくさんありました。

例えば、運動会の応援練習では、上級生が下級生に向かって、「大丈夫よ。」「ゆっくりやるから、よく見ていてね。」と優しく声をかける姿が見られました。また、「がんばろう。」「ありがとう。」「一緒にやろう。」など、友達を励ましたり、相手を思いやったりする優しい言葉が、学校のあちらこちらで聞かれました。たった一言が、



友達を安心させ、勇気づけている。そんな場面をたくさん見ることができました。何気ない言葉の中に、友達を大切にしようとする気持ちや、相手への思いやりが表れています。特に、高学年の子どもたちが下級生に優しく接する姿は、本校が大切にしている温かな学校文化として、少しずつ根付いてきていることを感じています。

言葉は、その人の心を映す鏡です。優しい言葉が増える学校には、自然と優しい行動も増えていきます。言葉には、人を元気にする力があります。反対に、強い言葉や冷たい言葉は、人の心を傷つけ、不安な気持ちにさせてしまいます。だからこそ学校では、相手への思いやりをもった「ふわふわ言葉」を大切にしていきたいと考えています。

また、優しい言葉が増えることで、学級や学校全体の雰囲気も落ち着いていきます。落ち着いた学習環境の中では、子どもたちは安心して発表したり、友達に質問したり、失敗を恐れず挑戦したりすることができます。

「ふわふわ言葉」は、安心できる教室をつくれます。安心できる教室でこそ、子どもは自分の考えを表現し、分からないことを尋ね、失敗を恐れず挑戦することができます。

最後に、どうかご家庭や地域においても、優しい言葉を耳にされたときには、私たち教職員と同様に子どもたちをしっかり褒めていただければと思います。その一言が、子どもたちの心に自信と温かさを育て、さらに人を思いやる言葉が広がっていく力になります。

[学校教育目標]

すべての子どもたちが主体的に学び続け 人間性豊かに生きる子どもの育成

進んで学ぶ子ども

たくましい子ども

思いやりのある子ども

1年生おめでとう集会



5月1日（金）に1年生おめでとう集会を行いました。早朝より雨が降ったりやんだりする不安定な天候となりましたが、すべての児童が安心して参加できるよう、安全で快適な環境を最優先に考え、学校内で実施しました。1年生は、全校児童の前で、一人ずつ自分の名前や好きなものを堂々と発表しました。なかよし班で行った校舎内を使ったクイズラリーでは、1年生が楽しめるように上級生が声をかけたり、手をつないで歩いたりと微笑ましい様子がたくさん見られました。

第1回PTA草刈り作業



5月9日（土）に、PTA草刈り作業を行いました。朝早くから多くの皆様が草刈り機を持参して集まっていたが、斜面等の地面が不安定なところもすっきりと刈っていただきました。午前8時から、保護者と一緒に参加した子どもたちも草集めや草抜き等の作業を行いました。全体での作業終了後には、おやじの会と有志の皆様によって法面の防草シート張り作業が完了しました。草捨て場をご提供いただいた百姓木村の木村節郎さん、軽トラックを出してくださった皆様、ご参加いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

望ましい行動を増やしていくために
子どもたちのすてきな姿教えてください。



学校に来られた際や
下記QRコードでも
可能です。
学校昇降口に掲示さ
せていただきます。